

事前評価個表

整理番号	2
------	---

地域（地区）名	おしまひやま 渡島檜山	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	はこだてし 函館市ほか 17 市町
事業実施期間	R2 年度 ～ R6 年度（5 年間）	事業実施主体	道、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道南西部の渡島半島に位置し、東部は内浦湾から太平洋、西部は日本海、南部は津軽海峡と三方を海に囲まれ、中央部を南北に 1,000m 級の渡島山系が縦断している。また、渡島山系を源とする後志利別川や遊楽部川など、大小の河川が半島を囲む海に注いでいる。</p> <p>本地区の総面積 657 千 ha のうち、森林面積は 529 千 ha（森林率 81%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は 83 千 ha（人工林率 30%）で、トドマツが 46%、スギが 34% を占めており、齢級構成はⅧ齢級以上が 75% と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は 806 千 m で、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されているが、今後の森林施業を実施するうえで、更なる路網整備が必要である。</p> <p>本地区内の人工林のうち 21 千 ha（人工林の 25%）がⅧ齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、森林所有者の高齢化や後継者不足による森林施業への意欲減退、造林事業の担い手不足等により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林の有する水源涵養^{かん}や土砂流出防止等の公益的機能の維持増進や高度な発揮を目指し、渡島檜山地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、計画的に森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：26,712.10 ha</p> <p style="padding-left: 20px;">人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：林道開設及び改良 延長 16,615m</p> <p>総事業費：8,972,951 千円（税抜き 8,157,228 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.28</p> <p>（総便益（B）=58,276,133 千円、総費用（C）=13,616,302 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている人工林が多く、今後、主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本事業の実施により、水源涵養^{かん}や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能の維持増進や高度発揮が図られるとともに、施業地の集約化や生産コストの縮減により、森林所有者の森林施業への意欲減退の歯止めにも繋がることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

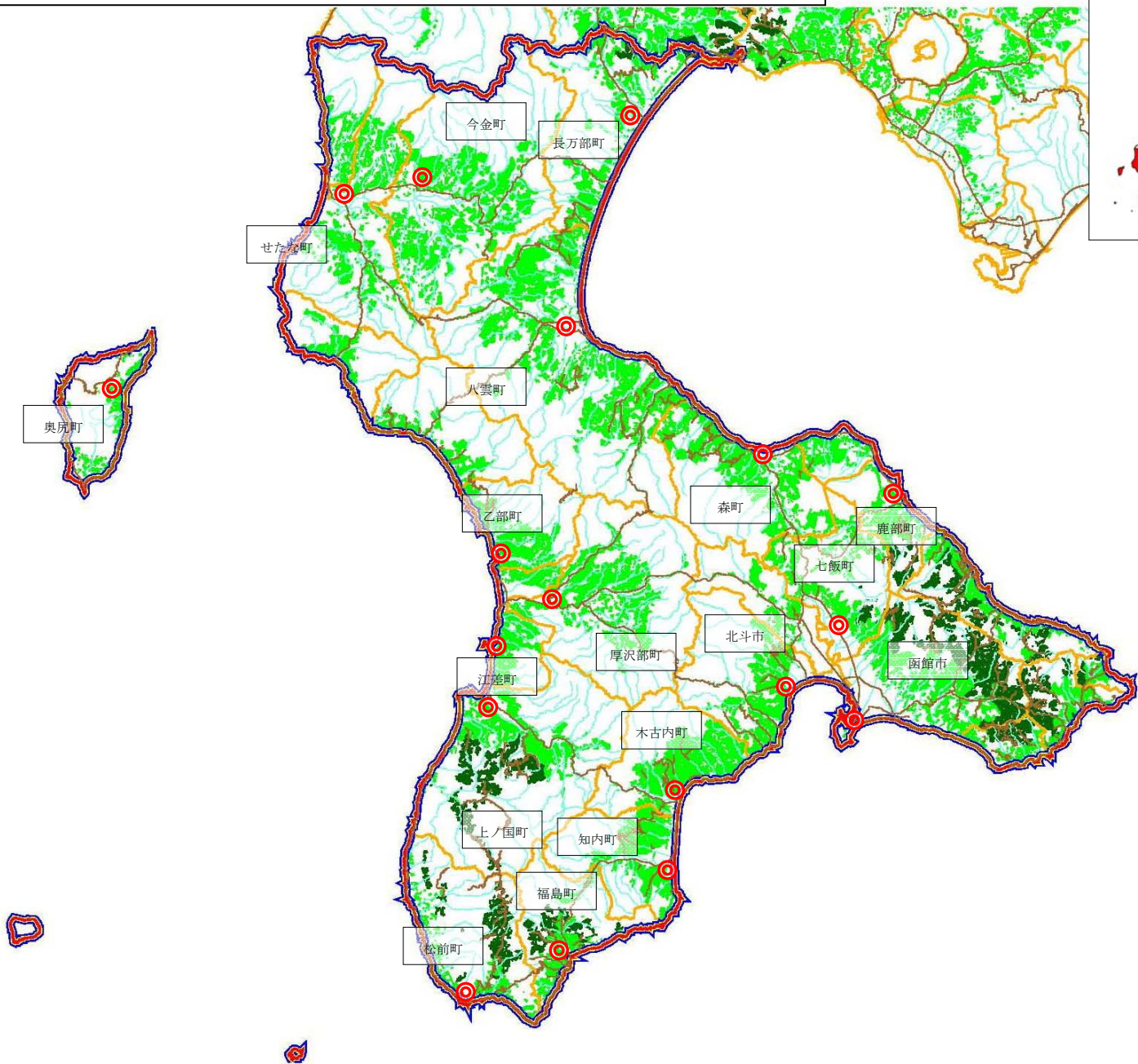
都道府県名：北海道

地域(地区)名：おしま ひやま渡島檜山

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益 ^{かん}	洪水防止便益	13,905,478	
	流域貯水便益	3,913,229	
	水質浄化便益	13,771,109	
山地保全便益	土砂流出防止便益	14,292,368	
環境保全便益	炭素固定便益	4,628,759	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,703	
	木材利用増進便益	429	
	木材生産確保・増進便益	5,665,255	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	40	
	森林整備促進便益	1,716,094	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	380,669	
総 便 益 (B)		58,276,133	
総 費 用 (C)		13,616,302	
費用便益比	$B \div C = \frac{58,276,133}{13,616,302} = 4.28$		

森林環境保全整備事業 渡島檜山地域（北海道）



凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	
国道・主要道	
河川	
市町村界	
市町村役場所在地	
一般民有林（人工林）	
道有林（人工林）	